

校訓	真善美	令和8年度 学校だより	発行日	令和8年8月28日
教育目標	自ら考え、協働し、 未来を拓く生徒の育成 —認め合う心、確かな学力、健やかな心身を育てる—	「荒中だより」 8月 葉月 第10号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

2学期 始業式に際して

いよいよ2学期が始まりました。今年の夏も厳しい暑さが続きましたね。皆さんはこの夏、家庭学習や地域での活動、部活動など、それぞれの時間を過ごしたことと思います。夏休みを振り返り、「これだけは頑張った」「少し成長できた」と思えることが一つでもあれば、それは皆さんにとって大きな財産です。



夏休み、学校で強く感じたことがあります。それは、「学校の風景が変わったな」ということです。これまでの夏休みであれば、朝から校庭や体育館で部活動に励む皆さんの元気な声が学校中に広がっていました。しかし、今年度から運動部活動の地域展開が進み、昼間の学校で皆さんの姿を見かける機会が少なくなりました。最初は少し寂しさも感じましたが、それは、皆さんの活動の場が学校から地域へと広がったことを表しています。多くの荒中生が、これまでとは違う環境で、新しい仲間と出会い、多くのことを学んでいることでしょう。

変化が起こると、不安になることがあります。これまで当たり前だったことがなくなると、「前の方がよかった」「いつも通りの方が安心だ」と思うこともあります。しかし、世の中に変わらないものはほとんどありません。社会も、技術も、人の生き方も変化し続けています。だからこそ大切なのは、**変化を恐れるのではなく、その変化の中で自分がどう行動するか**です。そのために必要なのは、「誰かが環境を整えてくれるのを待つ」のではなく、「自分から一步を踏み出す」ということです。

また、**新しいスタートだからこそ、挑戦**できることがあります。新しい学習に挑戦すること。苦手なことを克服しようと努力すること。学級や生徒会、学校行事で役割を引き受けること。どれも小さな一歩かもしれませんが、その積み重ねが皆さんを大きく成長させてくれることでしょう。



2学期は、体育大会や学習発表会など、多くの行事が予定されています。今年度から熱中症対策のため、9月に合唱コンクール、10月に体育大会、11月に学習発表会を実施します。2年生、3年生の皆さんにとっては、これまでと違う流れになるため、戸惑うこともあるかもしれません。しかし、新しい流れだからこそ生まれる工夫や発見もあります。**生徒会役員を中心に、みんなで知恵を出し合い、学級や学年、学校全体で協力しながら、より良いものを創り上げてほしい**と思います。

また、3年生の皆さんにとっては、進路選択の大切な時期を迎えます。進路選択もまた、人生における大きな変化の一つです。悩んだり迷ったりすることもあると思いますが、**自分で考え、自分で決める経験は、皆さんを大きく成長させます**。先生方も全力で支えていきますので、最後まであきらめずに取り組んでください。

今年の2学期は、これまでとは少し違う2学期になります。学校生活のリズムや行事の日程、放課後の過ごし方も変わっていきます。**皆さんの力で、新しい2学期をつくってほしい**と思います。

変化のない人生はありません。だからこそ、変化を前向きに受け止め、その中で自分を成長させていくことが大切です。変化は、新しい可能性を広げ、成長のきっかけを与えてくれるものです。この2学期が、皆さん一人ひとりが、新しいことに挑戦し、自分を成長させる充実した学期になることを願っています。

自信と誇りが持てる学校を創ろう!!